

計画を進めるにあたって

この計画では、基本施策ごとに目的や目標を決め、その達成度を測るため「目標指標」を設定しました。平成22年度を基準とし、5年後を中間の目標、10年後を最終の目標として定めて、この「目標指標」を目安に、基本施策の内容について、町民参加による評価・検証を行います。この評価・検証の結果を基に、基本施策を改善するP(計画)D(実行)C(評価)A(見直し)サイクルの循環により、次の計画までの適切な進捗管理を行います。

主な目標指標一覧

～スクスク わくわく 子ども世代編～

体系	施策No.	指標の内容	現状(H22)	5年後	10年後
学	基本施策1	幼稚園・保育所の交流の場の実施回数	5回	6回	8回
	基本施策5	学校支援ボランティア数	702人	1,000人	1,300人
安	基本施策10	スクールガード地区組織率	84.4%	100.0%	100.0%
活	基本施策12	中学校英検受験者数(全校生徒割合)	16.0%	30.0%	60.0%

～バリバリ 子育て・働き盛り世代編～

体系	施策No.	指標の内容	現状(H22)	5年後	10年後
活	基本施策13	農業生産法人	2経営体	5経営体	8経営体
	基本施策14	工場立地動向調査	0件	6件	12件
結	基本施策17	地域コミュニティ計画策定率	0.0%	53.0%	100.0%
学	基本施策24	公民館の利用者数	19,268人	45,000人	50,000人
美	基本施策28	家庭系一般廃棄物(焼却処理分)	166.9kg/人	158.9kg/人	150.0kg/人

～イキイキ ゆうゆう シニア世代編～

体系	施策No.	指標の内容	現状(H22)	5年後	10年後
安	基本施策30	特定健康診査受診率	25.6%	65.0%	65.0%
学	基本施策33	熟年大学参加状況	81人	120人	150人

～まちの基盤づくり編～

施策No.	指標の内容	現状(H22)	5年後	10年後
基本施策39	新規建築住宅のべ戸数	0戸	220戸	725戸
基本施策43	災害時要援護者登録者数	200人	270人	350人

～確かな行政力編～

施策No.	指標の内容	現状(H22)	5年後	10年後
基本施策47	経常収支比率	86.4%	83.2%	80.0%

第五次竜王町総合計画 (ダイジェスト版)

【発行年月】平成23年3月
 【発行】竜王町
 〒520-2592 滋賀県蒲生郡竜王町大字小口3番地
 【URL】<http://www.town.ryuoh.shiga.jp>
 【TEL】0748-58-3701
 【FAX】0748-58-1388
 【E-mail】info@town.ryuoh.shiga.jp



“ひと”育ち みんなで煌々 交竜の郷

第五次竜王町総合計画
2011▶2020

ダイジェスト版

平成23年(2011年)3月
竜王町

ごあいさつ

竜王町は、これまで「緑と文化の町」をキャッチフレーズとしてまちづくりを進めてきました。

この中で豊かな緑だけでなく、自動車工場をはじめ、たくさんの会社があり、最近では大型商業施設ができるなど、昔のよさが残されながら、農業、商業、工業がバランスよく発展しています。一方、生まれてくる子どもが減り、若者の転出などで、住む人は年々減っています。

この計画は、「“ひと”育ち みんなで煌く 交電の郷」をめざしてつくりました。竜王町に住む人を増やしたり、住んでいる人がたのしく、しあわせに暮らすことができるように「人」を大事にした計画です。

町民のみなさんが「住みやすくなったな」と思えるまち、ほかのまちから「来てよかったな」と思えるまちにするため、みんなでいっしょに取り組んでいきます。

この計画をつくるために、アイデアをいただいた町民のみなさん、会議に参加していただいた総合基本計画審議会委員のみなさん、関係者のみなさんにお礼を申し上げます。

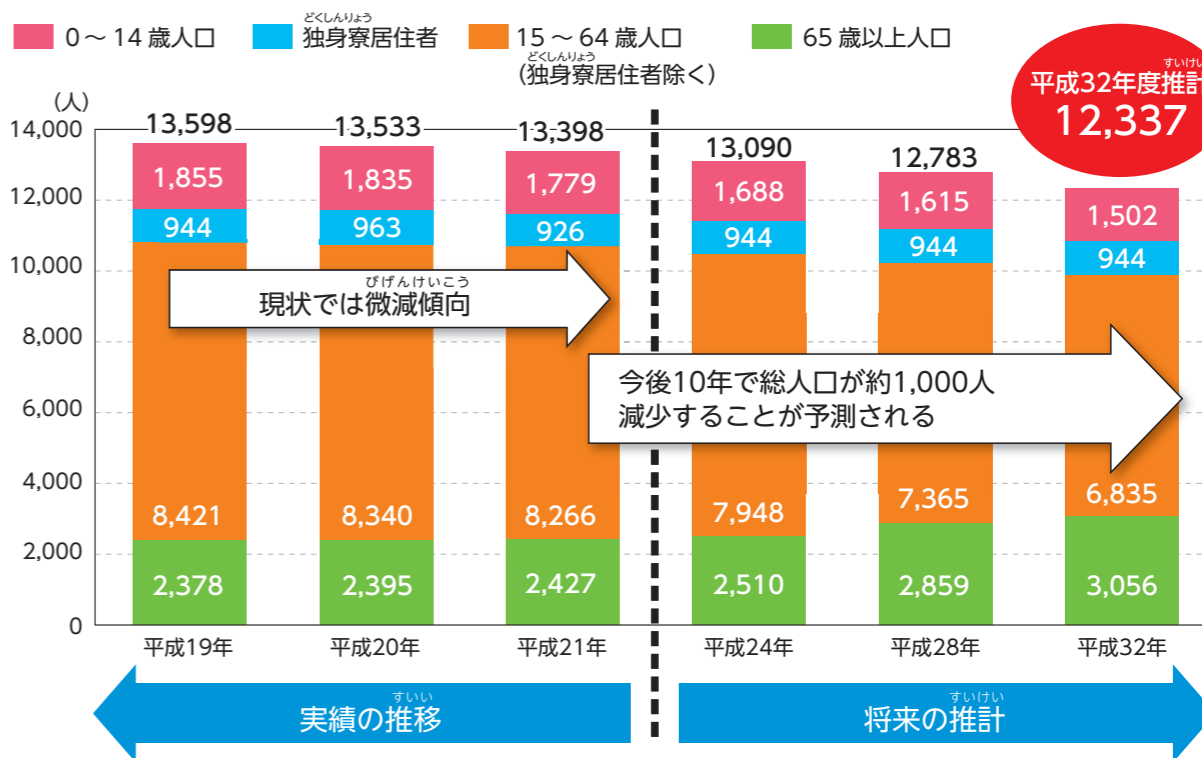
平成23年3月

竜王町長 竹山 秀雄



将来の人口予測

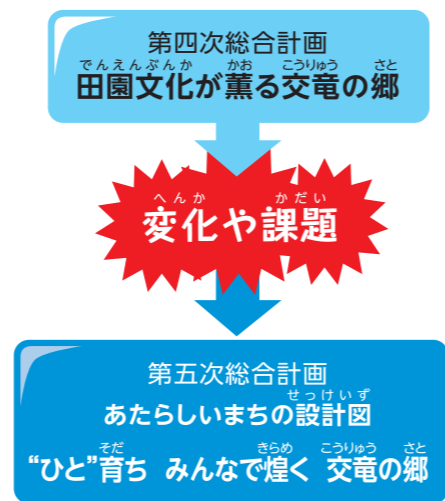
竜王町の総人口のこれまでのうつりかわりと今後の見込みは、以下のようになります。



※住民基本台帳＋外国人登録人口を用い、コーホート変化率法による推計。
 ※企業の独身寮に住んでいる人が毎年一定数であると想定して推計。
 ※推計時点の数値として、平成21年を現状値としています。

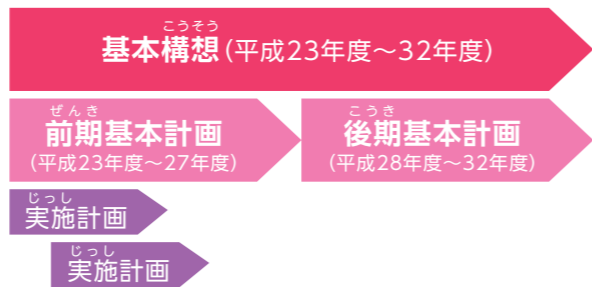
総合計画ってどんなもの？

竜王町では、これまでの10年間、「田園文化が薫る交電の郷」をめざして、まちづくりを進めてきました。子どもが減っておとしよりが増えたり、まわりの市町が合併したり、さまざまな変化がありました。まちづくりを進めるためには、住んでいる人や活動している団体、会社、町役場などが、竜王町のよいところをのびしながら、みんなで役割分担することが大切です。そのため、みんなが同じ目標をもって、協力することができるよう、あたらしいまちの設計図が必要になります。そこで、竜王町をどんなまちにしたいか考え、それを実現するための方法や優先順位を決めるためにこの計画をつくりました。



いつまでのことをきめられているの？

10年後の将来像（どんなまちにしたいか）をきめたものが「基本構想」、将来像を実現するために何をするかをきめたものが「基本計画」です。「基本計画」は、5年ごとに「前期基本計画」と「後期基本計画」にわかれています。そして、毎年何をするかきめたものが「実施計画」です。



基本理念～こんなまちづくりを進めます！～

「基本理念」は、まちづくりを進めるために、大切にしたい考え方です。竜王町の魅力を未来につなげ、さらに輝かせるための4つの考え方で取り組んでいきます。

① 豊かな自然と歴史を誇れるまちづくり

自然や歴史、あらたな魅力をつかって、町民みんながまちに誇りを持ち、次の世代につないでいくまちづくりをめざします。

② みんなが安心して暮らせるまちづくり

福祉、防犯・防災、地域のつながりなどにより、だれもが安心して暮らせるまちづくりをめざします。

③ チャンスを活かすたくましいまちづくり

自然や歴史・文化、農商工がそろった強みと、変化の時期におけるチャンスを活かし、たくましいまちづくりをめざします。

④ 町民と行政の協働により築くオリジナルのまちづくり

町民が企画段階からかわり、実行する、竜王町らしいオリジナルのまちづくりをめざします。

まちの将来像 ~こんなまちをめざします!~

竜王町の大きな変化をチャンスとして活かすために、人口を増やすだけでなく、人材や会社などを育成していくことも必要です。また、町民、会社や町役場がいっしょに竜王町を盛り上げていくことができれば、まちの「煌き=魅力、活力」は、何倍、何十倍にもふくらみます。

美しい田園風景や歴史・文化に、竜王町を訪れる人が増えることであらたな元気が加わった「交竜の郷」を舞台として、「ひと」が育ち、まち全体が「みんな」で「煌く」ことをめざし、まちの将来像を「ひと」育ち みんなで煌く 交竜の郷」とします。

ひと： 竜王町で暮らす人、活動する人、訪れる人、地域、会社、団体など

育ち： 子どもから大人まで学びや体験などの活動により、能力を高めるとともに、人材育成を図る。また、会社や団体の成長

みんな： “ひと”がそれぞれ対等な立場で、目的の達成に向けて協力していく=協働

煌く： 人口増や“ひと”の活躍、産業活性化など、将来に夢をもつことができる元気や魅力の高まり

交竜： 広域交流・観光交流の活性化などの町外との交流、住民同士や会社との地域内交流。「交流=交竜」としているのは、竜が天にのぼっていくようにまちの発展をめざすイメージ

郷： 町民生活の舞台となる「緑と文化」が輝くわたしたちのふるさと

将来目標人口

竜王町の人口は、10年後には1,000人くらい減り、子どもや若い人が少なく、おとしよりの多いまちになると予想されます。青年団活動や、まつり、運動会など、地域の行事も続けていくことがむずかしくなるかもしれません。

しかし、竜王町では、工場など働く場が多いことや、タウンセンターエリア(町役場、公民館、スーパーマーケット)やアウトレットモールのオープンで生活が便利になったり、訪れる人が増えていることから、住む人を増やすチャンスがあります。チャンスを活かし、若い人に住み続けてもらったり、あらたに住んでもらうことで、10年後の人口を14,000人にすることをめざします。



目標人口の到達ステップ

ステップ1(1,000人)

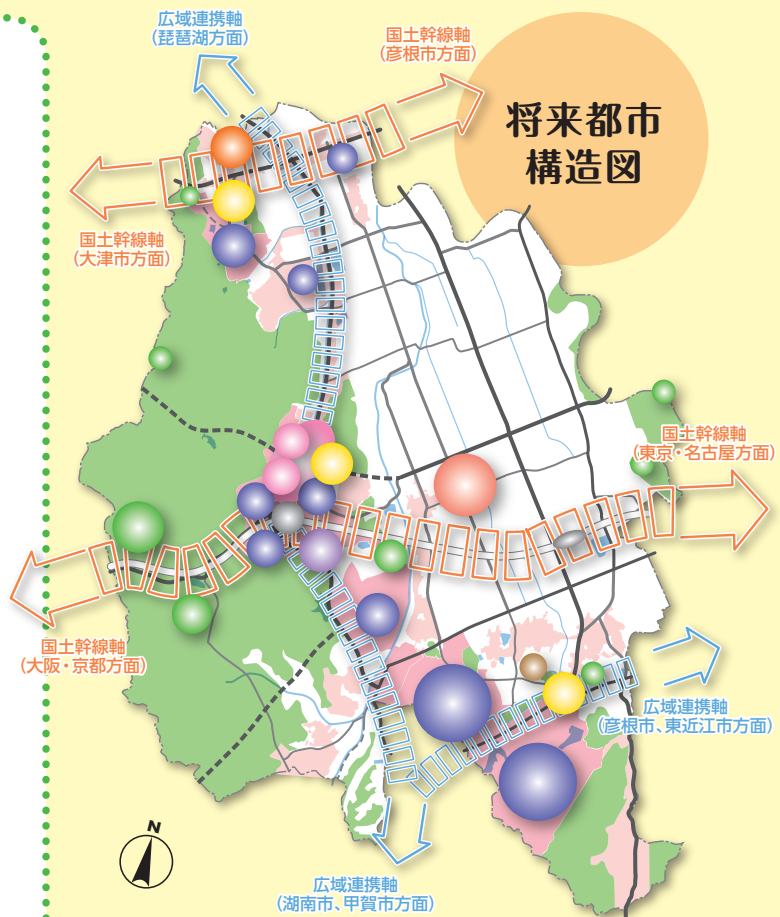
未活用資源の活用

- 既存住宅団地の空き区画への誘導
- 新規住宅団地(鏡北部地域)の活用
- 空き家対策

ステップ2(700人)

新たな受け皿づくり

- 市街化区域周辺の活用
- 集落周辺における地区計画の活用



凡 例		
市街地地域	● タウンセンター	● 広域商業拠点
準市街地地域	● 新規住宅団地(鏡北部地域)	● 産業拠点
田園地域	● 新規住宅地域	● 農業観光拠点
森林地域	● 観光・レクリエーション拠点	● 運輸流通拠点
		● 交通結節拠点

※ --- は、広域ネットワーク構想路線

“ひと”育ち みんなで煌く 交電の郷

平成32年度
目標人口
14,000人

第五次竜王町総合計画の全体像

- 豊かな自然と歴史を誇れるまちづくり
- みんなが安心して暮らせるまちづくり
- チャンスを活かすたくましいまちづくり
- 町民と行政の協働により築くオリジナルのまちづくり

前期基本計画 平成23年度～27年度

現在の魅力を持続・発展させる基本目標

ライフステージ

スクスク わくわく 子ども世代編

バリバリ 子育て・働き盛り世代編

イキイキ ゆうゆう シニア世代編

竜王町の次世代を担う子どもが、健やかにいきいきと育つために必要となる取り組みです。

- 学**
 - 基本施策1 生きる力を育む就学前教育の充実
 - 基本施策2 確かな学力の育成をめざす学校教育の推進
 - 基本施策3 子ども・若者育成支援の充実
 - 基本施策4 子どもの人権意識の醸成
 - 基本施策5 地域の教育力の向上
- 安**
 - 基本施策6 特別支援教育・障がい児福祉の充実
 - 基本施策7 子どもの体づくり、豊かな心の育成の推進
 - 基本施策8 児童福祉の充実
 - 基本施策9 子どもの保健安全・医療の充実
 - 基本施策10 子どもを守る防犯・交通安全の推進
- 結**
 - 基本施策11 豊かな体験活動の推進
- 美**
 - 基本施策12 国際理解教育の推進

就労、結婚、子育て期にあたる世代が暮らしやすさを実感できるようにするための取り組みです。

- 活**
 - 基本施策13 農業の振興
 - 基本施策14 商工業の振興
 - 基本施策15 観光交流の振興
 - 結**
 - 基本施策16 協働によるまちづくりの推進
 - 基本施策17 地域コミュニティの絆づくり
 - 安**
 - 基本施策18 子育て環境の充実
 - 基本施策19 健康づくり活動の推進・医療の充実
 - 基本施策20 障がい者福祉の推進
 - 基本施策21 防犯・交通安全の推進
 - 基本施策22 消防・防災の推進
 - 基本施策23 雇用・勤労者福祉の推進
 - 学**
 - 基本施策24 生涯学習拠点施設の活動推進
 - 基本施策25 すべての人の人権の尊重
 - 基本施策26 男女共同参画社会の構築
 - *基本施策35 文化の振興(再掲)
 - 美**
 - 基本施策27 田園空間の保全
 - 基本施策28 資源循環型社会の構築
- ※基本施策35は、イキイキ ゆうゆう シニア世代編と共通

シニア世代が、住みなれた地域でいつまでも自分らしく暮らすことができるようにするための取り組みです。

- 安**
 - 基本施策29 住み慣れた地域で生活するための支援
 - 基本施策30 シニア世代の健康体力づくりの充実
 - 基本施策31 高齢者を守る防犯・交通安全対策の推進
 - 結**
 - 基本施策32 シニア世代のまちづくりへの参加
 - 学**
 - 基本施策33 生きがいづくりの推進
 - 基本施策34 高齢期の人権意識の醸成
 - 基本施策35 文化の振興
 - 活**
 - 基本施策36 シニア世代の産業振興
 - 美**
 - *基本施策27 田園空間の保全(再掲)
 - *基本施策28 資源循環型社会の構築(再掲)
- ※基本施策27・28は、バリバリ 子育て・働き盛り世代編と共通

まちの基盤・行政力ステージ

まちの基盤づくり編

確かな行政力編

5つのまちづくり分野

どの世代も竜王町で安心して暮らすことができるようにするための取り組みです。

- 基本施策37 効果的な土地利用
- 基本施策38 道路・交通の整備
- 基本施策39 住宅・住環境の整備
- 基本施策40 公共施設等の整備
- 基本施策41 情報発信体制の充実
- 基本施策42 文化財の保護
- 基本施策43 災害時要援護者への支援
- 基本施策44 社会保障の充実
- 基本施策45 上下水道の整備

安定的な行政経営や町民ニーズに応じたサービスを提供する「行政力」に関する取り組みです。

- 基本施策46 行政経営の推進
- 基本施策47 健全な財政運営
- 基本施策48 広域行政の推進

- 学** 「がく」 町民の学びに関する分野
- 安** 「あん」 生活の安心・安全に関する分野
- 結** 「ゆい」 町民間や行政とのパートナーシップのもと主体的に活動することに関する分野
- 美** 「び」 まちの美しい環境に関する分野
- 活** 「かつ」 まちの活力に関する分野

今の竜王町だからこそ必要な施策を重点プロジェクト化

さらにまちを煌かせる重点プロジェクト

- ア) 人育ち 夢輝く 郷づくり**…まちの魅力を輝かせる取り組み
 - 戦略1 交流コミュニティ創造プロジェクト
観光から交流人口へ誘導できるまちの入口づくりほか
 - 戦略2 土産土法による「食」のもてなしプロジェクト
町内外への学校給食のPR・食育の推進。食のもてなしや食育拠点機能の設置ほか
 - 戦略3 子育て・子育てプロジェクト
県内トップクラスの学力をめざす。地域子育て支援拠点事業の充実ほか
 - 戦略4 エコライフ活動促進プロジェクト
ごみの減量や省エネルギー等、日常生活におけるエコライフ活動の普及促進ほか
- イ) 暮らし 潤う 郷づくり**…生活の利便性を高める取り組み
 - 戦略5 総合的な安心・安全プロジェクト
安心の移動支援サービス。地域防災情報システムの整備ほか
 - 戦略6 篠原駅周辺都市整備と連携した北部エリアの活性化プロジェクト
新規住宅地への定住促進と篠原駅とを結ぶ道路・交通インフラの整備ほか
 - 戦略7 竜王流活動人口世代プロジェクト
退職シニア世代が元気に活躍できる仕組みづくり、安心の体制づくりほか
- ウ) 活力 煌く 郷づくり**…まちの産業振興を活性化する取り組み
 - 戦略8 アウトレットモールを軸とした活性化プロジェクト
名神竜王IC周辺町有地の利活用。観光農業、産地直売の拡大ほか
 - 戦略9 雇用の場を確保することによる定住促進プロジェクト
竜王岡屋工業団地の形成、自動車関連産業の集積。定住に向けた企業との連携ほか
 - 戦略10 農商工連携によるコミュニティビジネスプロジェクト
6次産業の促進、食品関連産業の連携、地元特産物の産地形成ほか
- エ) みんなが担う 郷づくり**…町民と行政が協力してまちづくりを進める取り組み
 - 戦略11 行政のレベルアッププロジェクト
健全な行政経営、職員の能力開発・向上ほか
 - 戦略12 地域の“自力”創造プロジェクト
協働の推進に向けたルールづくりと町民主体活動の促進。地域の絆づくり活動の展開ほか
- オ) 「交電の郷」 舞台づくり**…住宅や土地利用など、プロジェクトの舞台づくりの取り組み
 - 戦略13 定住者の受け皿づくりプロジェクト
集合住宅の整備誘導。空き区画等への定住誘導、空き家の有効活用ほか
 - 戦略14 まちのポテンシャルを活かすための交通インフラの強化プロジェクト
名神竜王ICの機能拡充、広域交通ネットワークの構築
 - 戦略15 地域コミュニティの将来ビジョンづくりプロジェクト
地域将来計画の策定推進ほか



役割分担+土台づくり [戦略の基礎固め]

交流人口戦略
観光入込客数や通勤・通学による流入者です。にぎわいの創出や、まちの魅力を多くの人に紹介することで竜王町への関心を高め、定住人口増のきっかけとします。

交流人口戦略値	現状	H28	H32
交流人口戦略値	482人	650人	800人
体験型・交流型事業へ参加した人の数	436人	550人	650人
竜王町出身者、関係者・機関等へのアプローチ数	46人	100人	150人

定住人口戦略
竜王町に居住している人の数です。人口の減少に歯止めをかけ、増加に転じるような施策を行います。

定住人口戦略値	現状	H28	H32
住民基本台帳+外国人登録人口	13,398人	13,300人	14,000人

活動人口戦略
何らかの活動をしている人の数で、まちの活力を表します。人口の大幅増が見込めなかったとしてもまちの元気を維持・拡大していくことにつながります。

活動人口戦略値	現状	H28	H32
活動人口戦略値(参加割合)	42.8%	45.0%	50.0%
地域活動をしている人の数	3,600人	3,800人	4,200人